

指導内容系統表例 1

1 はじめに

鹿児島県総合教育センター教科教育研修課では、教科指導における小・中・高連携の在り方に関する調査研究の具体的取組の一つとして、「指導内容系統表」の作成を行った。また、平成21年度から進めている調査研究においても、具体的取組の一つとして「指導内容系統表」の作成を行っている（詳しくは、「指導内容系統表2」を参照）。

そこで、これまで作成してきた指導内容系統表について具体例を示すことにした。

各学校においては、これらの具体例を参考に指導内容系統表を作成し、授業の工夫・改善に役立てて欲しい。

2 指導内容系統表作成上の留意点

指導内容系統表を作成する上での留意点については、次の通りである。

(1) 指導内容

指導内容については、校種ごとに学習指導要領の内容について記載する。

中教審答申（平成20年1月）には「社会的事象に関する基礎的・基本的な知識，概念や技能を確実に習得させ，それらを活用する力（中略）を育成する観点から，各学校段階の特質に応じて，習得すべき知識，概念の明確化を図る」ことが重要であると述べられている。そこで，学習指導要領の内容を基に各校種において習得すべき基礎的・基本的な知識について明らかにするとともに，それらをいくつかの視点に分類して明らかにすることにした。基礎的・基本的な知識をいくつかの視点で分類することにより，社会的事象を多面的・多角的に把握することができると考えたからである。

(2) 育てたい力

本研究を通して育てたい力の一つとして「自ら課題を見付け，よりよく解決する力」がある。この力を育成するために，社会・地歴・公民科では，「課題を見付ける力」，「資料を活用し，表現する力」，「自ら考え，判断する力」を育てたい力として示すこととした。

(3) 活用例

これまでに学んだことをどのように活用させたら，指導内容の理解を深めさせることができるか，そのための活用例を記載することにした。

		小学校	中学校	高等学校
指導内容	学習指導要領の内容	各校種の学習指導要領の内容と習得すべき基礎的・基本的な知識について記載する。 各校種の基礎的・基本的な知識を示すことで，すべての校種に共通の基礎的・基本的な知識や系統性が明らかになる。		
	押さえておきたい基礎的・基本的な知識			
育てたい力	課題を見付ける力			
	資料を活用し，表現する力	学習指導要領解説に示された具体的内容や国立教育政策研究所の評価規準の例を参考にして作成する。		
	自ら考え，判断する力			
活用例				

図 指導内容系統表例

3 指導内容系統表例

- (1) 単元「奈良時代」の指導内容系統表例
- (2) 単元「信長・秀吉の時代」の指導内容系統表例
- (3) 単元「江戸幕府の成立」の指導内容系統表例
- (4) 単元「欧米の進出と日本の開国」の指導内容系統表例
- (5) 単元「食料生産と日本の農業」の指導内容系統表例